

校外にて
桃柿育英会に寄付します
October 23, 2011 15:14



本校ではボランティア同好会の生徒たちが中心となって、東日本大震災の募金活動を継続しています。



4月、5月は募金活動も支援ボランティア活動も盛んでした。
しかし、3ヶ月が過ぎ、6ヶ月が過ぎると段々様子が変わってきます。



本校では、「復興には長い年月がかかるだろう」、とりわけ「親を亡くしてしまった子どもたちには10年単位の支援が必要」と考えて、桃柿育英会に対する募金協力を継続して行っています。



確かに募金に協力して下さる方は、半年前よりは少なくなってきています。しかし、「ご苦労様。大変だけれど大切なことだから頑張ってくださいね」と声をかけて下さる方も沢山おられて、生徒たちも励まされていました。



なお、生徒たちは皆、肩に喪章をつけています。

実は半年前に始めて募金活動に立った時、ある年配の方から「喪章をつけていない募金活動には協力しない」という厳しいご指導をいただき、気づかせていただいたものです。

勇気を出して行動することで、ありがたい気づきをいただくこともあります。今後も生徒たちと一緒に一歩ずつ前に進んで行きたいと思います。